

泌尿器科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

- ・診断、治療、緩和医療まで！癌診療（手術、放射線、薬物療法、緩和医療）を包括的に体験し、学ぶことができます！
- ・高侵襲拡大手術後の管理が完璧！ 腎不全、高カリウム血症なんて怖くない！
- ・ブラッドアクセスで中心静脈も即確保：中心静脈を確保してのブラッドアクセスも日常に！緊急血液透析導入の判断、実際の血液透析の施行条件などについて学ぶことができます。
- ・一般医でもつまずきやすいフォーリーカテーテルの留置法が学べる！フォーリーカテーテル挿入困難症例への対応法、安全なフォーリーカテーテル留置の方法について学ぶことができます。
- ・手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）が身近に！ ポート留置、アームの装着ができる！
- ・移植医療が身近に！ 腎移植の免疫抑制、周術期管理に携われる！

★血液透析導入・アフェレシス（特殊な血液浄化法）：5例、
中心静脈カテーテル（血液透析用カテーテル）挿入：5例、
維持透析症例の管理：10例、フォーリーカテーテルの留置：20例、など

【専門研修に向けて(希望者には！)】

- ・当科にローテートで、日本最速、血管縫合のプロに！ 日本で最速の泌尿器内視鏡のプロに！
- ・泌尿器癌と腎移植>>免疫療法と免疫抑制：免疫状態の管理、免疫不全状態での（日和見）感染症制御、腎移植後の高度な術後管理などを学ぶことができます。

まずは経尿道的処置・手術（膀胱粘膜生検、膀胱腫瘍切除術、尿路結石碎石術、膀胱水圧拡張術、尿管カテーテル法、など）、血液透析のための内シャント作成術、陰嚢内容に対する手術（高位精巣摘除術、精巣生検、陰嚢水腫手術、など）を担当して頂きます。慣れてきたら腹腔鏡手術や開腹手術における初期段階の、臓器周辺の剥離・展開を担当して頂きます。

【研修目標と評価】

一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する泌尿器科疾患に適切な対応ができるように、入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（技能，知識，態度）を身に付ける。

一般的行動目標

1. 医師患者間の信頼関係が確立できる。
2. チーム医療の一員としての行動ができる。
3. 安全管理の基本を理解し、実践できる。
4. 医療面接を適切に行うことができる。
5. 症例提示を通して討論に参加できる。

6. 診療計画を作成できる。
7. 入退院の適応を判断できる。
8. 医療制度、医療の倫理を理解し実践できる。

泌尿器科疾患

行動目標

1. 問診、身体所見と検査から疾患を発見できる。
2. 尿検査、血液検査ならびに泌尿器科固有の検査の評価ができる。
3. 泌尿器科の超音波検査とその評価ができる。
4. 排尿機能検査とその評価ができる。
5. 泌尿器科領域のX線検査とその評価ができる。
6. 膀胱鏡検査とその評価ができる。
7. 泌尿生殖器の生検ができる。

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 泌尿器癌（腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎癌）の診断、治療の一般的知識
2. 排尿機能障害（尿失禁、排尿困難）の原因と治療に関する知識
3. 尿路感染症、性感染症の診断と治療に関する知識
4. 尿路結石症（腎、尿管、膀胱）の病因、診断、治療に関する知識
5. 下垂体、副腎、精巣及び副甲状腺機能などの内分泌学的知識

技能：

1. 主訴、現病歴に応じた適切な問診と、これらに関する家族歴、既往歴の問診ができる。
2. 腹部～鼠径部の触診、陰嚢内容触診及び前立腺直腸診ができる。
3. 精液検査、尿道分泌物による検査の実施と評価ができる。
4. 腎、膀胱、前立腺の超音波検査の実施と評価ができる。
5. 尿流量測定、残尿測定、ウロダイナミクス検査の実施と評価ができる。
6. KUB、排泄性腎盂造影（DIP）、逆行性腎盂造影（RP）、膀胱造影（CG）、逆行性尿道膀胱造影（UVG）の実施と評価ができる。
7. 副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺、後腹膜、骨盤内臓器のCT、MRI、核医学検査（レノグラム、腎シンチ、骨シンチ、副腎シンチ）の読影と評価ができる。
8. 導尿、膀胱洗浄、フォーリーカテーテル留置を行うことができる。
9. 尿道膀胱鏡検査、尿管カテーテル法ができる。
10. 精巣生検、前立腺針生検、膀胱粘膜生検ができる。
11. 注射法、採血法（動脈血採血を含む）ができる。
12. 中心静脈カテーテル（透析用カテーテル）を挿入できる。
13. 滅菌・消毒法の理解と創管理ができる。

14. 皮膚切開，縫合，抜糸，抜釘ができる。
15. ドレーンの管理ができる。
16. 呼吸管理ができる。
17. 疼痛管理ができる。
18. 術前・術後循環動態の管理ができる。
19. 輸血管理，電解質異常の治療ができる。
20. 体温管理ができる。
21. 感染への対処と抗生物質の正しい使用ができる。
22. 手術の介助ができる。

急性ならびに慢性腎不全

行動目標

1. 急性腎不全の原因を特定し，治療計画を立てることができる。
2. 慢性腎不全の管理と血液浄化療法の原理を理解し管理できる。
3. 腎移植周術期の管理が理解できる。

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 腎不全（急性・慢性）の病態と治療法に関する知識
2. 血液浄化法（血液濾過透析，血液濾過，二重膜濾過血漿分離交換法，血漿交換，腹膜透析（CAPD），腹水濾過濃縮再静注法（CART））の原理，適応，長所・短所の理解
3. 腎移植術，免疫抑制療法に関する知識

技能：

1. ブラッドアクセス（内シヤント，内頸・大腿静脈留置カテーテル）の作製と管理ができる。
2. 血液透析の管理ができる。
3. 腎移植後の周術期管理ができる。
4. その他の血液浄化法（血液濾過透析，血液濾過，二重膜濾過血漿分離交換法，血漿交換，腹水濾過濃縮再静注法（CART））の管理ができる。

【方略】研修方法

1. 研修医は主治医として10-15名の入院患者を担当し，上級医，指導医とともに患者の診察，検査，手術及び術前・術後管理に当たる。
2. 指導医とともに，外来における患者の診察を修得する。
3. 症例検討会で症例呈示を行うことにより問題点を明らかにし，問題の解決に至るプロセスを学ぶ。
4. 症例発表会，抄読会に参加し広く泌尿器科に関する知識を得る。
5. X線カンファランス，病理カンファランスでは放射線科医，病理医との

コミュニケーションの中から新たな知識を得る。

指導医

羽瀧友則, 成田伸太郎, 齋藤 満, 沼倉一幸, 奈良健平, 山本竜平, 小林瑞貴

泌尿器科ホームページ:

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~hinyoki/>

泌尿器科についてのご質問は,

沼倉一幸 (医局長) まで

e-mail : NQF38647@nifty.com

TEL : 018-884-6156, FAX : 018-836-2619

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
7:30	X線カンファランス				
8:00	抄読会	腎カンファランス	病理カンファランス	抄読会	
8:30		グループ回診 病棟・外来	(隔週) 抄読会		グループ回診 病棟・外来
9:00	グループ回診	手術	手術	手術	
9:15	病棟・外来				
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	手術, 検査	手術	手術	手術	手術
16:00	カルテ回診 総回診		検査 (前立腺生検, 腎生検, X線検査など)		検査 (前立腺生検, 腎生検, X線検査など)
17:00	症例カンファランス 研究カンファランス スタッフミーティング				
18:00			薬剤説明会・ビデオ カンファランス		